

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田県土整備事務所	氏名	伊藤 祐子
派遣先団体名	NPO法人 あいの会		
① 研修の日時 平成23年10月14日(金)、17(月)、18(火)、20(木)、21日(金) 計5日間 9:00～17:00 (21日は8:30～17:00)			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)			
日	研修内容	活動の詳細	
14	事業内容の説明、施設内見学	NPOの事業全般、これまでの経緯などの説明(理事長)	
	移送業務の説明	サービスの概要や問題点の説明	
	グループリビングの見学	グループリビング室内の見学や体制等の説明	
	車椅子体験	車椅子の種類、特徴、使い方、押し方を学ぶ。室内乗車。	
17	グループリビング(なかのや)体験	ヘルパーの仕事見学、補助。入居者との会食。	
18	グループリビング(あかりの家)体験	ヘルパーの仕事見学、補助。入居者とのふれあい。	
	移送サービス体験	病院への送迎に同行。院内での車椅子移動の介助。	
20	デイサービス体験(午後)	概要説明。利用者と一緒にゲーム、体操。	
	車椅子体験	屋外乗車。坂道、でこぼこ、段差の押し方、乗り心地を体験	
	子育て事業体験	事業内容の説明。ものづくりを手伝う。	
	移送サービス体験	病院への送迎に同行。車椅子のまま乗車を体験。	
21	デイサービス送迎体験	利用者宅への迎えに同行。	
	デイサービス体験(午前～昼)	利用者と一緒に工作活動、昼食。それぞれの健康状態に応じたサービス内容を観察、体験。	
	移送サービス体験	病院への送迎に同行。	
	まとめ	全般を通しての質疑応答、NPOブログへの記事投稿等	
このほか、福祉事務の補助(各日1～2h程度)や質疑応答・報告書作成(各日1h程度)を行った。			
③ 研修の感想(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)			
<p>一過性のイベントではなく、日常の業務を見せていただいたことで、介護の現場の多忙さや地域の抱える医療、交通の実情など様々な問題が見えた。現場では毎日予測不能な事が起こり、事務所ではそれに対応するために活発に意見を交わし、瞬時に予定を組み替え、奔走されていた姿が印象的だった。また、ヘルパーや職員の方に話を聞いたり、利用者や家族の表情をみたりするうちに、個々人やその家族の「生き方」についても考えさせられ、介護現場のシビアな一面も見えた。研修を通して、「在宅生活」を実現させるためには介助する側の多大な労力、気力、努力が必要であることを実感した。また、様々な健康状態や境遇の方と接したことで、研修後は、福祉関係の記事に目を通すと状況が目に見え、以前よりも実感をもって読むことができるようになった。実際に現場に行かなければ分からないことを肌で感じる事ができ、本当に有意義だった。</p> <p>『あいの会』は、行政に頼らず、自分たちでできることから一步一步、知恵をしぼって活動し、今では地域の様々なニーズに対応されている。「地域の方の在宅生活を守る」という強い信念で、グループリビングを開設したり、採算の合わない移送サービスを続けたりされており、ここに会社ではなくNPOとして活動されている意義があると感じた。活動内容は、行政が一律にサービスを提供するよりも、機動的で、きめ細やかであり、自分が想像していた以上に地域の方の生活を支えていることが分かった。</p> <p>私たち行政は、このような強い思いをもって自力で活動する団体が動きやすい環境・しくみをつくることで協力していく必要があると感じた。</p>			
④ その他特記事項			
(※今後の研修実施に当たった改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			
昨年度の報告書がHPにアップされるのを心待ちにされていました。			

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) (注2) 研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。